

大内かわら版 NO.8

大内地区の「地域の教科書」

- ①暮らしに関することをまとめたもの（行事・役割、慣わしなど）
- ②地域の魅力・特徴などをまとめたもの

目的・効果

- 〔移住希望者〕大内のことを知ってもらい、知ったうえで移住してもらう。選んでもらう。
- 〔大内住民皆様〕地域の魅力など認識の再確認をする。
・在住行政区以外の行事・団体などを知る。
- 〔出身者・若い世代〕地域の魅力などを情報発信し、理解してもらう。

「地域の教科書」づくりの進捗状況

第1段階の基本情報版作成のため、大内地区全体と、各区（12区）毎の情報を4つのテーマに分けて整理中です。大まかな各区の構造や、それぞれに異なる細かい

ルールなどが見えてきました。

今後、各行政区長や団体長に資料の提供や整理中のものを見ていただき、データの整合性を高めていきます（資料などがありませんでしたら、ご協力をお願いします）

その後、第1段階の完成に向けてデザイン性のあるものにしていく予定です。また第2段階のスタートに向けて、宮城大学まちづくり研究室卒業生の皆さんにどのように地域に入っていただくかも探っています。



〇〇 4つのテーマ 〇〇

年間行事	暮らしについて
役割・組織一覧	区費・その他必要な負担金

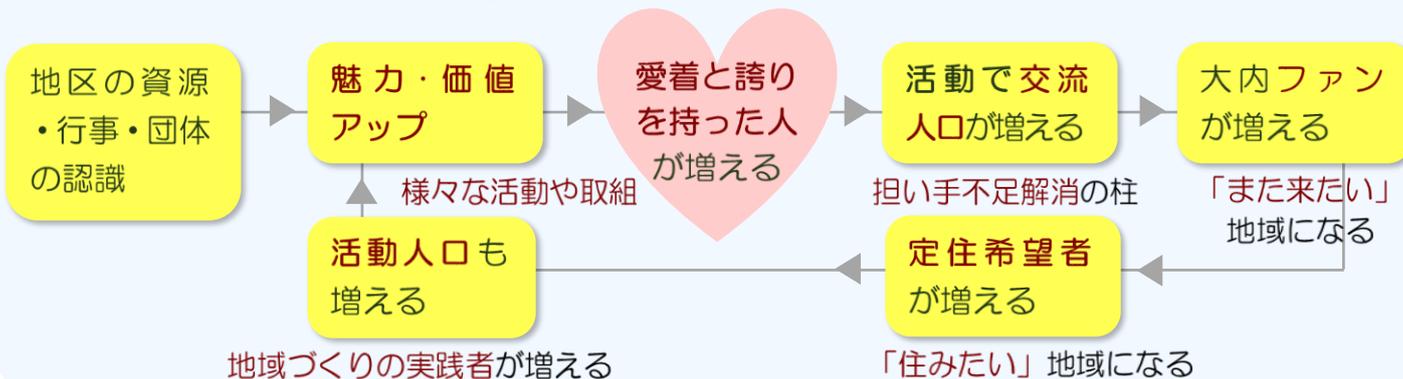
移住事業・交流事業とは？ <1>

現在、今まで守られてきた地域資源や伝統文化の維持、暮らしなどに人口減少・少子高齢化などで影響が出ています。

また担い手不足などにより、組織が弱体化したり、今まで地域を支えていた相互扶助の精神が薄れているところもあります。これを緩和し、地域活性に導く有効な手段として外から人を入れサポートしてもらう「**移住事業・交流事業**」の推進が各地で取り組まれています。

大内地区でも平成27年度「みやぎ移住・交流推進モデル地区」となり、事業の推進を図っています。

移住事業・交流事業のイメージ図



大内地区では、住民の皆さん自身が地域の課題や未来をともに考え行動する、住民自治で地域づくりをしています。

大内各地区の出来事や催しなど（6～7月中旬）



南伊手スマイルロード事業 6/11
25年以上前から続く県道の路肩への植栽が今年も行われました。



大内小学生はた織り体験 6/14
3年生の子供達が佐野地織会館でコースター織り体験しました。



ブナ&モミ原生林を歩く 6/15
青葉女子会で手倉山トレッキング。森林浴を楽しみました。



民謡の伝承活動
新相馬節全国大会に向け、大内小学校3年生が練習に励んでいます。



上町防災組織 設立総会 6/20
上町行政区で自主防災組織の設立総会がありました。



町社協主催「もりもりクラブ」6/20
交流事業の一環として、大内小学校で七夕飾りづくりをしました。



みずきの里丸森スイーツバイキング 6/24
自慢のスイーツが並んだバイキングは大好評。次回は7/22です。



「七夕神社周辺をめぐりはた織り体験」ツアー 7/7
町内外の参加者が八重垣神社、七夕神社、佐野地織会館などをまわり七夕を満喫するとともに、昼食は七夕地区皆さんの手作り料理を堪能。素晴らしい交流の場にもなりました。

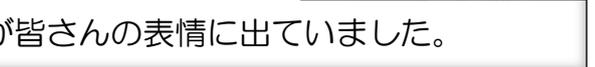


まるもり移住・定住サポートセンター主催「ローカルベンチャーツアー」

民泊、手仕事体験、企業家訪問などを通して、丸森で「暮らす」「働く」を体感してもらう学生を中心とした若者向けツアーが6/17-18、7/1-2の2回行われました。

大内地区内の民泊は、2回合わせて6軒で行われました。始めは「どのように受入れたら良いか」など心配される声もありましたが、一緒に農作業をしたり、散歩をしたり、普段の生活で楽しい交流の時間を過ごされたようです。また木工、陶芸、織物など手仕事体験では地域の皆さんが講師となり、参加者も満足されていました。

様々な交流をすることで、**大内地区の魅力**を再発見するとともに、**大内地区のファン**も増えたのではないのでしょうか？それが皆さんの表情に出ています。



手仕事体験

民泊